



千葉大学病院  
CHIBA UNIVERSITY HOSPITAL

がん市民公開講座 - WEB 開催 -

がんになっても  
命・生活・人生  
わたしのLifeはわたしが選ぶ

1/23 (日) 13:00~16:00

千葉大学病院

事前登録必要 2022.1.22まで

2022.2.6までオンデマンド配信を行います。  
オンデマンドで視聴される方も事前登録をお願いします。

事前登録

2022.1.22までに以下のURLか右のQRコードにアクセスして  
参加の事前登録をしてください。 <https://ws.formzu.net/fgen/S7741413/> ▶



共催：千葉大学医学部附属病院（地域がん診療連携拠点病院） / 千葉大学大学院医学研究院（関東がん専門医療人養成拠点）

問合せ

☎ 043-226-2806

千葉大学医学部 臨床腫瘍学（担当：庄司）  
受付時間 10:00~16:00 ※土日祝日を除く

## わたしが選ぶわたしのLife

Lifeには命、生活、人生という意味があるのですね。今年のテーマはなんか英語の授業のような感じがしないわけでもありません。わたしが選んだわたしのLifeですから誰にも邪魔されたくありません。それががんであってもコロナであってても。

新型コロナに感染したり、仕事がやりにくくなったり、収入が減った方には心よりお見舞い申し上げます。そうでなくても世界中のほぼ全員がこの感染症から直接の影響を受けました。今回の市民公開講座が昨年に引き続きオンライン開催になったのも新型コロナの影響に他なりません。新型コロナ感染症に負けて市民公開講座を中止してしまったら、とてもがんには打ち勝てないだろうと考え、昨年は「with コロナ時代のがん治療～変わらないサポートがここにある～」をテーマとして開催しました。例年に比べて参加人数が減ったのは事実ですが、それでもお陰様で多くの方々にご参加いただき好評をいただきました。今年は「がんになってもわたしのLifeはわたしが選ぶ」をテーマといたしました。新型コロナウイルス感染症が蔓延しようと、がんに罹患しようと、私の選んだLifeに邪魔はさせないという強い意思を打ち出したいと思います。講座の前半では千葉大病院の職員の講演を聞いていただき、がんになっても自分のLifeを守りたいあなたに千葉大病院の熱い思いをお伝えしたいと思います。特別講演には清水公一様（肺がんサバイバーで社会保険労務士）をお迎えし「がんになったからこそ、わたしらしく生きる」と題したご講演を賜ります。がんに打ち勝ち、それをバネに多彩な社会活動でご活躍されている清水様のご講演はきっと皆様の心に響くことと思います。オンライン講座はパソコンがなくてもスマホがあれば参加できます。どうかいずれの講演も楽しみにしていただきたく存じます。

千葉大病院は平成20年以降、がんに関する市民公開講座を毎年開催しており、今年で15回目になります。短い時間でお伝えできる情報には限りがありますが、自分や愛する人の健康を願う皆様のお役に立つことを願っています。

最後に、がんと新型コロナウイルス感染症が1日も早く克服されることを皆様と共に心より祈念いたします。

千葉大学病院 腫瘍内科長

滝口 裕一



## がんになったからこそ、わたしらしく生きる

今回の市民公開講座で特別講演を担当させていただきます清水です。今回のテーマは「がんになってもわたしのLifeはわたしが選ぶ」ということですが、私自身、35歳で肺がんになりました。2012年に肺がん罹患したので、今年で10年になります。はたして、この10年わたしの人生はわたしが選んできたでしょうか。振り返ると、選んできた人生もあれば、諦めざるを得ない人生もありました。

結婚した翌年、長男が生まれて約2ヶ月後に肺がんと診断されました。その後、がんはリンパ節、副腎、脳へと転移し、医師から「これからの治療は根治目的としたものではなく延命のための治療です。時間を大事にしてください」と告げられたことをはっきり覚えています。その当時の肺腺がんステージ4の5年生存率は5%未満でした。それでも、命を諦めることができない自分がいました。

限られた時間をどのように使うかは紛れもなく「わたしらしく生きること」だと思います。がん罹患後はいろいろな選択を迫られます。治療を決めるのは「命を選ぶこと」であり、時間の使い方は「人生を選ぶこと」であると思います。その時に一人ひとりが後悔のない選択をし、後悔のない人生を歩んでほしいです。これが私の強い思いです。

私自身、治療と仕事の両立に苦勞し、家族がいるなかで、経済的不安を抱えながらの闘病生活でした。就職して一度も見たこともない就業規則をじっくり読んで休職制度を調べ、健康保険、障害年金などの社会保障制度を調べました。それにより、経済的支援を受けることができ、このお金はわたしらしく生きることにとてもプラスになりました。

私は「NPO法人肺がん患者の会ワンステップ」という患者会の立ち上げのメンバーです。そこで、たくさんのがん患者が、私と同じように仕事のこと、お金のことなどで悩んでいる現状を知りました。そのようながん患者さんの支援をしたいという思いから、がん罹患後社会保険労務士の資格を取得し、いまは社会保険労務士としてがん患者さんを支援する仕事をさせてもらっています。

治療の進歩により、がんとの闘病期間が長期にわたる患者さんも多く、治療だけでなく、たくさん「Life（命、生活、人生）を選ぶこと」が必要になってきています。皆様におかれましても、限りある人生後悔することなく、「わたしらしく生きる」ことができるよう祈念しております。

肺がんサバイバー  
社会保険労務士事務所  
Cancer Work-Life Balance

清水 公一氏



演者 Presenter

## 千葉大学病院のスタッフがお話しします

大野 泉

腫瘍内科



医学の進歩に伴い様々な疾患の治療が変革を遂げていますが、その中であっても、「がん」はまだまだ標準治療（医学的な事実に基づいた最も適切であると考えられる治療）が十分に確立されているとは言い難い、課題の多い疾患です。特に切除が難しい進行がんの新しい治療戦略、個々の患者さんの状況に応じた個別化医療の重要性が叫ばれています。

同じがんであっても、治療の効果に差があるのはなぜなのか？再発率に差があるのはなぜなのか？近年、がんの性質を表すがん遺伝子の違いにより、このような「治療効果の差」が生じるのではないかと考えられています。そのような背景から、特徴的ながんの性質に関連するといわれる数百のがん遺伝子をがんの組織を使って調べるがん遺伝子パネル検査が2019年6月保険承認され、さらに、2021年8月には血液検体で同様のパネル検査が可能となりました。これにより、それぞれの臓器別に考えられた従来のがん治療だけでなく、個々のがん遺伝子変異に基づいた臓器横断的な治療が徐々に拡大しつつあります。今回のお話しでは、そのような、患者さん一人一人に最も適した医療をどのように提供できるのか、千葉大学の取り組みについてお話ししたいと思います。

宇津木 あかね

患者支援部



今年度より地域医療連携部から患者支援部へと名称変更をいたしました。安心して療養生活が送れますよう、ソーシャルワーカーと看護師が患者さん・ご家族の医療と福祉に関する相談をお受けしております。

がんと診断された際や療養生活を送る中で患者さん・ご家族はたくさんの悩みや不安を抱えていらっしゃると思います。一緒に治療と生活の両立について考えていければと思っています。

滝田 美紀子

薬剤部



がん薬物療法は近年めざましい進歩により多くの抗がん薬が使用できるようになりました。抗がん薬には従来から使用されている薬の他に、がんに直接作用する薬など様々な種類があり、薬ごとに使用できる患者さんや副作用が異なります。患者さんそれぞれのがん薬物治療が最小限の副作用で安全に、かつ治療効果が最大限得られるものとなるよう、私たち薬剤師はサポートしています。今回は多様化するがん薬物療法の特徴について、より理解を深めていただけるようにお話しをしたいと思います。今回のお話しが皆様のお役に立てば幸いです。

神津 三佳

看護部



がんと診断されてから、「わたしの命・生活・人生を第一に考える」ことへの遠慮や、「わたしが選ぶ」ことへの心細さを経験された方が少なからずいらっしゃるのではないのでしょうか。

看護師は、あなたの思いや好みを知り、あなたが求める何かをどうしたら手に入れられるかを一緒に考える存在でありたいと思っています。求めることはいつも自由で、とても大切です。他人や病気の成り行きは自分では変えられないけど、自分の考え方や行動は自分で変えられるからです。そうした試行錯誤と積み重ねが、「わたしのLifeはわたしが選ぶ」ということであり、ひいては今日を生きる力につながるのではないのでしょうか。

わたしたちは、あなたが求める何かを手に入れようとする試みを、いつでも応援しています。

## プログラム Program

- 13:00～13:10 開会のあいさつ 病院長 横手 幸太郎
- 13:10～13:50 **講演 1**  
私のがん、私にあった治療を知る 大野 泉 (腫瘍内科)
- 講演 2**  
がん薬物療法の多様性 -薬の特徴どう違う- 滝田 美紀子 (薬剤部)
- 13:50～14:00 休 憩
- 14:00～14:40 **講演 3**  
命・生活・人生  
わたしのLifeを選ぶとは 神津 三佳 (看護部)
- 講演 4**  
がんと暮らし -わたしらしいがん治療- 宇津木 あかね (患者支援部)
- 14:40～14:55 休 憩
- 14:55～15:10 質 疑 応 答 滝口 裕一 (腫瘍内科)
- 15:10～15:55 **特別講演**  
がんになったからこそ、わたしらしく生きる  
肺がんサバイバー  
社会保険労務士事務所  
Cancer Work-Life Balance  
清水 公一 氏
- 15:55～16:00 閉会のあいさつ 副病院長 吉野 一郎

プログラムの時間は前後することがあります





✕ ㄷ Memo

A series of horizontal dotted lines for writing, spanning the width of the page.

